
[SP 改] 未既読機能

FOR SHAREPOINT 2016

ユーザーマニュアル

1.0 版 2016 年 12 月 1 日

株式会社アンク



目次

概要	2
未既読機能の設定	3
未既読機能一括設定	6
未読・既読情報の記録	8
アクセスランキング WEB パーツ	9
「ユーザー設定のリストフォーム」について	12
制限事項	18
試用版について	19

概要

未既読機能は、ユーザーごとにリストアイテムやドキュメントの未読・既読を記録・表示する機能です。フォームを開いたリストアイテムや、ダウンロードしたドキュメントを、「既読」アイテムとして記録し、ライブラリまたはリストのビューで、アイテムやドキュメントに、未読／既読を示すアイコンを表示することができます。また、そのアイコンをダブルクリックすることにより、任意に未読と既読を切り替えることも可能です。

記録された既読情報を利用して、アクセスランキングの Web パーツを表示することができます。**※プロ版のみ**

未既読機能の設定

未既読機能を設定する手順は、次の通りです。

1. ライブラリやリストの設定画面で、[全般設定] の [[SP改]未既読機能設定] をクリックします。

全般設定

- リスト名、説明、ナビゲーションの列挙
- バージョン設定
- 詳細設定
- 検証の設定
- 列の既定値の設定
- 対象ユーザーの設定
- 評価の設定
- **[SP改]未既読機能設定**
- フォームの設定

2. 未既読機能の設定画面が表示されます。

[未既読機能の有効化]

[このリストで未既読機能を有効にする] チェックボックスをオンにすると、詳細設定欄が表示されます。

未既読機能の有効化

未既読機能を有効にすると、このリストに未既読表示列が作成されます。各ビューに未既読表示列を追加することによってアイテムの未既読が表示されるようになります。

☒ このリストで未既読機能を有効にする

アイテムプロパティ更新時の未既読初期化

ユーザーが編集フォームでアイテムのプロパティを更新した際に、そのアイテムの未既読情報を初期化するかどうかを指定してください。

※InfoPathフォームを使用している場合、「更新時に初期化するかどうか更新者が指定する」を選択しても、実際にはユーザーが指定することはできません（常に初期化されません）。

● 更新時に初期化するかどうか更新者が指定する ※
● 更新時に常に初期化する
● 更新時に常に初期化しない

未既読を表示するビュー	ビュー名	コンテンツタイプ	このビューで未既読を表示する
未既読機能を表示するビューを指定してください。	すべてのドキュメント	(なし)	☐

既読登録するビュー	ビュー名	コンテンツタイプ	既読登録するビュー
ビューを表示しただけで各アイテムを既読にする場合は、ビューを指定してください。例えば、ディスカッション掲示板の「スレッド形式」ビューや「フラット形式」ビューを指定すると、ビューに表示された「ディスカッション（スレッド）」とすべての「返信」が既読となります。	すべてのドキュメント	(なし)	☐

保存 キャンセル

[アイテムプロパティ更新時の未既読初期化]

ユーザーがリストアイテムを編集した際に、そのアイテムを既に「既読」としているユーザーを「未読」状態に初期化するかどうか指定できます。

- 編集時に初期化するかどうかユーザーが選択可能
ユーザーがリストアイテムを編集する際に、編集画面で未既読情報の初期化をするかしないかを指定することができます。
- 編集時に常に初期化する
ユーザーがリストアイテムの編集を行うと、自動的に全ユーザーの既読情報が消去されます。
- 編集時に常に初期化しない
ユーザーがリストアイテムの編集を行っても、既読情報は消去されません。

[未既読を表示するビュー]

「未読」・「既読」のアイコン列を表示するビューが指定できます。

※未既読列の表示設定は、ビューの編集画面から行うことも可能です。（詳細は後述の備考を参照して下さい。）

[既読登録するビュー]

ビューを表示しただけで、そのビュー内に表示されたすべてのアイテムが「既読」として記録されます。

（ディスカッション掲示板の「スレッド形式」や「フラット形式」ビューなどで、画面に表示された全ての返信が「既読」とするための機能です。）

※既読登録するビューの設定は、ビューの編集画面から行うことも可能です。（詳細は後述の備考を参照して下さい。）

3. [保存]ボタンをクリックすると設定が完了です。
4. 保存後、未既読アイコンを表示する設定にしたビューには、以下のように「未読」・「既読」アイコン列が表示されます。



備考)ビューの編集画面から設定を行う方法

未既読機能が有効になっているライブラリまたはリストで、ビューの編集画面から未既読の表示や既読登録するビューの設定を変更することができます。

- 未既読機能が有効になっているライブラリまたはリストを開き、設定を行うビューの(標準機能の)編集画面を表示します。

列

各列のチェックボックスのオン/オフを切り替えて、このページのこのビューに表示する列を選択してください。列の並び順を指定するには、[左からの並び順] ボックスで数値を選択します。

表示	列名	左からの並び順
☒	未既読表示 (ビューを表示した際にアイテムの未既読を表示) ※ データシートビューでは表示することができません。	1 ▼
☒	種類 (ドキュメントにリンクされたアイコン)	2 ▼
☒	タイトル (編集メニュー付きのアイテムにリンク)	3 ▼
☒	未既読登録 (ビューを表示した際に表示されているアイテムを既読登録) ※データシートビューでは表示することができません。	4 ▼
☐	ID	5 ▼

[未既読表示]

列の設定で、[未既読表示]列のチェックボックスをオンにすると、「未読」・「既読」アイコン列がビューに表示されます。(前述の 2.の [未既読を表示するビュー] で指定した場合に表示される列です。)

※この[未既読表示]列にチェックを入れたビューは、データシートビューで表示できません。

[未既読登録]

列の設定で、[未既読登録]列のチェックボックスをオンにすると、そのビュー内に表示されたすべてのアイテムが「既読」として記録されます。(前述の 2.の [未既読登録するビュー] で指定した場合に表示される列です。)

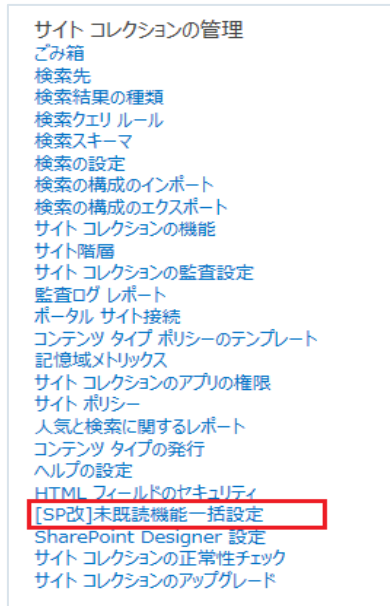
※この[未既読登録]列は表示されない不可視列です。

※この[未既読登録]列にチェックを入れたビューは、データシートビューで表示できません。

未既読機能一括設定

未既読機能の有効・無効を一括で設定する手順は、次の通りです。

1. サイトの設定画面で、[サイトコレクションの管理] の [[SP 改]未既読機能一括設定] をクリックします。



2. 未既読機能の一括設定画面が表示されます。



3. 各リストで未既読機能の有効・無効を選択します。

リスト	設定
サイトコレクション	
📢 お知らせ (4 items)	☐ 無効 ☒ 有効
📁 カスタムリスト (3 items)	☒ 無効 ☐ 有効
🌐 サイトのページ (2 items)	☒ 無効 ☐ 有効

4. 有効・無効以外の設定（編集時の初期化や未既読を表示するビュー等の設定）を行う場合は、対象のリストのリンクをクリックすると、リスト毎の未既読設定画面が別ウィンドウで表示されます。

リスト	設定
サイトコレクション	
📢 お知らせ (4 items)	☐ 無効 ☒ 有効
📁 カスタムリスト (3 items)	☒ 無効 ☐ 有効
🌐 サイトのページ (2 items)	☒ 無効 ☐ 有効

5. [保存]ボタンをクリックすると設定が完了です。

未読・既読情報の記録

ライブラリまたはリストのアイテムを表示・編集した場合、そのアイテムに対して既読の記録が行われます。
また、未既読アイコンをダブルクリックすることで、「未読」・「既読」を切り替えることができます。

既読の記録は、上記のように個別に行うほか、指定したビューに表示されたアイテムに対して一括して行うことが可能です。

※ディスカッション掲示板のスレッド／フラット形式ビューで、表示された各「返信」を既読にするため、デフォルトで設定されるようになっています。

◇ ビューに未既読表示列が設定されている場合、既読登録情報によって列のアイコンが「未読」または「既読」表示されます。

- ☒ 未読 — アイテムが未読の場合、表示されます。
- ☐ 既読 — アイテムが既読の場合、表示されます。

アクセスランキング WEB パーツ

記録された既読情報をアクセスランキングとして一覧表示する Web パーツです。日間～年間のよくアクセスされたアイテム一覧を表示します。また、自分が最近アクセスしたアイテム一覧を表示する Web パーツもあります。

◆ 対象 Web パーツ

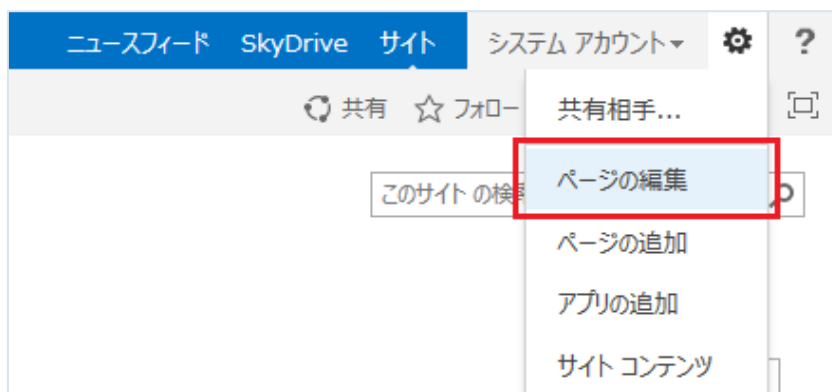
日間アクセスランキング	過去1日間よくアクセスされたアイテムを一覧表示します。
週間アクセスランキング	過去1週間よくアクセスされたアイテムを一覧表示します。
月間アクセスランキング	過去1ヶ月間よくアクセスされたアイテムを一覧表示します。
年間アクセスランキング	過去1年間よくアクセスされたアイテムを一覧表示します。
自分が最近見たアイテム	ユーザー自身が最近アクセスしたアイテムを一覧表示します。

上記 Web パーツのコンパクト版

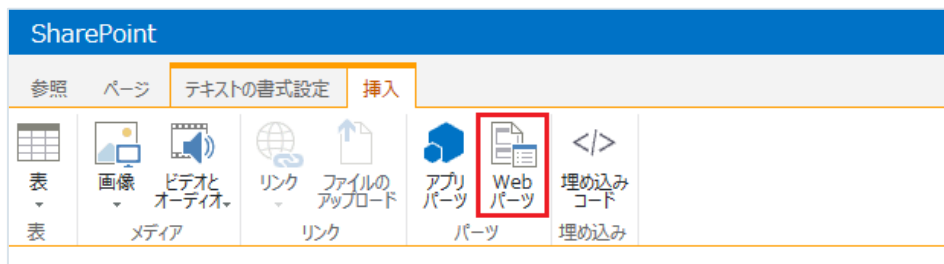
日間アクセスランキング — Mini
週間アクセスランキング — Mini
月間アクセスランキング — Mini
年間アクセスランキング — Mini
自分が最近見たアイテム — Mini

◆ Web パーツの配置方法

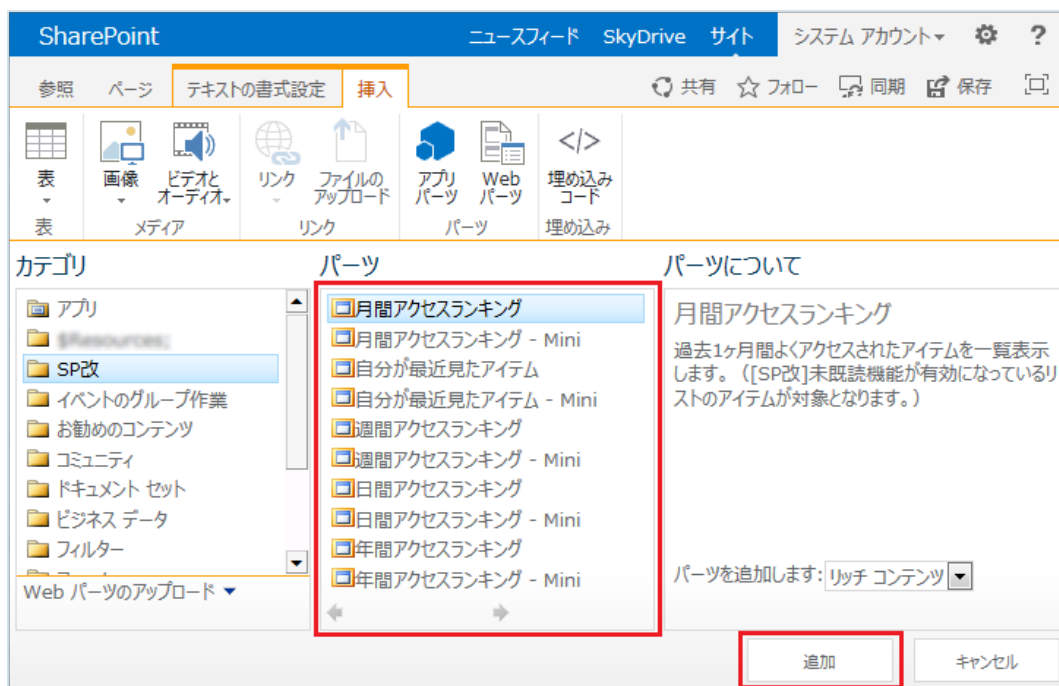
1. 配置するページの編集画面を開きます。



2. リボンの挿入タグの[Web パーツ] をクリックすると Web パーツの一覧が表示されます。



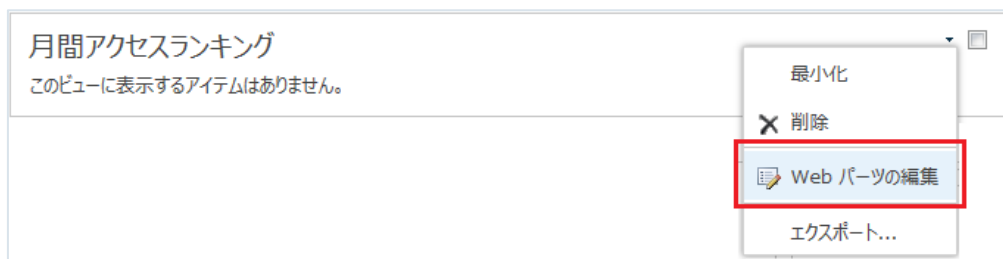
3. [SP 改] カテゴリの中から、配置する Web パーツを選択し、[追加] ボタンをクリックします。



4. 対象のページに Web パーツが配置されます。

※Web パーツの詳細を設定する場合は、下記 5～8 の操作を行なって下さい。

5. Web パーツの [編集]メニューから [Web パーツの編集] をクリックします。



6. 画面に Web パーツの編集画面が表示されます。
7. 各項目を設定します。

◇ その他

[表示件数]

Web パーツの一覧に表示するアイテムの件数を指定することができます。

[表示するアイテムの種類]

Web パーツの一覧に表示するアイテムの種類を指定することができます。

- ListItemOnly : リストのリストアイテムのみ表示します。
- DocumentOnly : ライブラリのドキュメントのみ表示します。
- ListItemAndDocument : リストアイテムとドキュメントの両方を表示します。

8. [OK] または [適用] ボタンをクリックします。
9. ページの編集モードを終了します。

10. アクセスランキングが一覧で表示されます。

月間アクセスランキング				
タイトル	リスト	アクセス数	最終更新日	最終更新者
内線一覧_2010年	お知らせ	1628	2013/07/17 11:53:13	西園寺 瞳
人事異動について	お知らせ	1281	2013/07/12 10:37:53	白鳥 雪之丞
株主総会について	お知らせ	922	2013/07/12 11:20:04	白鳥 雪之丞
会議室の予約方法について	お知らせ	911	2013/07/12 11:17:11	西園寺 瞳
避難訓練	予定表	788	2013/07/12 10:44:42	早乙女 光

「ユーザー設定のリストフォーム」について

SharePointDesigner 等を使用して、「ユーザー設定のリストフォーム(DataFormWebPart)」を追加したページで本機能を利用する場合には、次の点にご注意ください。

1. 本機能が有効なリストで「ユーザー設定のリストフォーム」を新規作成した場合

① アイテム表示フォーム

XSLT テンプレート内に未既読処理用のフィールドが自動作成されます。ただしそのままでは既読登録されないため、以下の図を参考にコードを修正してください。

➤ 変更前



```
368      <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
369        <xsl:value-of select="@Title"/>
370      </td>
371    </tr>
372    <tr>
373      <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
374        <H3 class="ms-standardheader">
375          <nobr>未既読処理用</nobr>
376        </H3>
377      </td>
378      <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
379        <xsl:value-of select="@ReadUnreadField"/>
380      </td>
381    </tr>
382    <xsl:if test="$dvt_i_automode = '1'" ddwrt:cf_ignore="1">
383      <tr>
384        <td colspan="99" class="ms-vb">
385          <span ddwrt:amkeyfield="ID" ddwrt:amkeyvalue="ddwrt:EscapeDelims(string(@ID))">
386          </td>
387    </tr>
```

➤ 変更後



```
340      <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
341        <xsl:value-of select="@Title"/>
342      </td>
343    </tr>
344    <SharePoint:FormField runat="server" ControlMode="Display" FieldName="ReadUnreadField" />
345    <xsl:if test="$dvt_i_automode = '1'" ddwrt:cf_ignore="1">
346      <tr>
347        <td colspan="99" class="ms-vb">
348          <span ddwrt:amkeyfield="ID" ddwrt:amkeyvalue="ddwrt:EscapeDelims(string(@ID))">
349          </td>
350      </tr>
351    </xsl:if>
```

② アイテム編集フォーム

XSLT テンプレート内に未既読処理用のフィールドが自動作成されます。変更は不要です。

```
346 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
347 <SharePoint:FormField runat="server" id="ff1{$Pos}" ControlMode="Edit" FieldName="Title" __designer:
348 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ffdescription{$Pos}" FieldName="Title" ControlMode
349 </td>
350 </tr>
351 <tr>
352 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
353 <H3 class="ms-standardheader">
354 <nobr>未既読処理用</nobr>
355 </H3>
356 </td>
357 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
358 <SharePoint:FormField runat="server" id="ff2{$Pos}" ControlMode="Edit" FieldName="ReadUnreadField"
359 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff2description{$Pos}" FieldName="ReadUnreadField"
360 </td>
361 </tr>
362 <tr id="idAttachmentsRow">
363 <td width="20px" valign="top" class="ms-formlabel" width="20px">
364 <SharePoint:FieldLabel ControlMode="Edit" FieldName="Attachments" runat="server"/>
365 </td>
```

③ アイテム作成フォーム

XSLT テンプレート内に未既読処理用のフィールドが自動作成されます。このフィールドは不要ですので削除してください。

➤ 変更前



```
342 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
343 <SharePoint:FormField runat="server" id="ff1{$Pos}" ControlMode="New" FieldName="Title" __designer
344 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff1description{$Pos}" FieldName="Title" ControlMod
345 </td>
346 </tr>
347 <tr>
348 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
349 <H3 class="ms-standardheader">
350 <nobr>未既読処理用</nobr>
351 </H3>
352 </td>
353 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
354 <SharePoint:FormField runat="server" id="ff2{$Pos}" ControlMode="New" FieldName="ReadUnreadField"
355 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff2description{$Pos}" FieldName="ReadUnreadField"
356 </td>
357 </tr>
358 <tr id="idAttachmentsRow">
359 <td nowrap="true" valign="top" class="ms-formlabel" width="20%">
360 <SharePoint:FieldLabel ControlMode="New" FieldName="Attachments" runat="server"/>
361 </td>
```

➤ 変更後



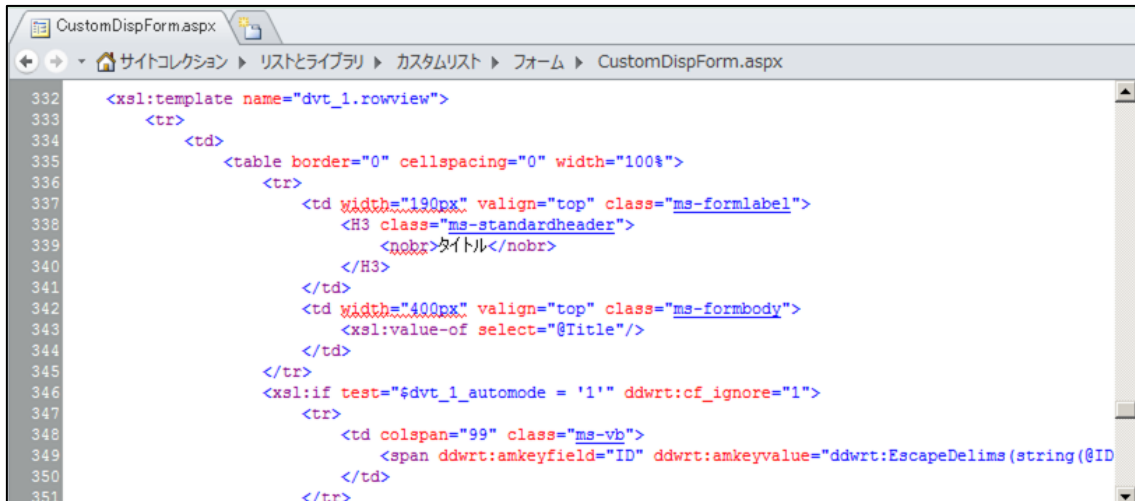
```
342 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
343 <SharePoint:FormField runat="server" id="ff1{$Pos}" ControlMode="New" FieldName="Title" __designer
344 <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ff1description{$Pos}" FieldName="Title" ControlMod
345 </td>
346 </tr>
347 <tr id="idAttachmentsRow">
348 <td nowrap="true" valign="top" class="ms-formlabel" width="20%">
349 <SharePoint:FieldLabel ControlMode="New" FieldName="Attachments" runat="server"/>
350 </td>
```

2. 本機能が有効なリストで、既に作成済みの「ユーザー設定のリストフォーム」を修正する場合

① アイテム表示フォーム

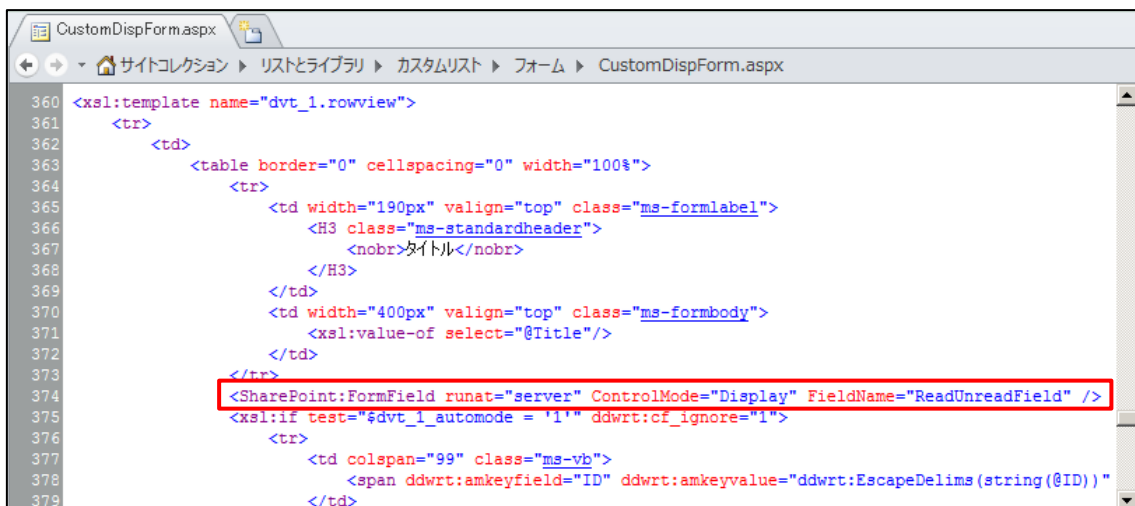
XSLT テンプレート内の<xsl:template name=dvt_1.rowview>タグ内に、未既読処理用の FormField コントロールを追加して下さい(このコントロールはフォームには表示されません)。以下に修正例を記載します。

➤ 変更前



```
332 <xsl:template name="dvt_1.rowview">
333 <tr>
334 <td>
335 <table border="0" cellspacing="0" width="100%">
336 <tr>
337 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
338 <H3 class="ms-standardheader">
339 <nobr>タイトル</nobr>
340 </H3>
341 </td>
342 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
343 <xsl:value-of select="@Title"/>
344 </td>
345 </tr>
346 <xsl:if test="$dvt_1_automode = '1'" ddwrt:cf_ignore="1">
347 <tr>
348 <td colspan="99" class="ms-vb">
349 <span ddwrt:amkeyfield="ID" ddwrt:amkeyvalue="ddwrt:EscapeDelims(string(@ID))">
350 </td>
351 </tr>
```

➤ 変更後



```
360 <xsl:template name="dvt_1.rowview">
361 <tr>
362 <td>
363 <table border="0" cellspacing="0" width="100%">
364 <tr>
365 <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
366 <H3 class="ms-standardheader">
367 <nobr>タイトル</nobr>
368 </H3>
369 </td>
370 <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
371 <xsl:value-of select="@Title"/>
372 </td>
373 </tr>
374 <SharePoint:FormField runat="server" ControlMode="Display" FieldName="ReadUnreadField" />
375 <xsl:if test="$dvt_1_automode = '1'" ddwrt:cf_ignore="1">
376 <tr>
377 <td colspan="99" class="ms-vb">
378 <span ddwrt:amkeyfield="ID" ddwrt:amkeyvalue="ddwrt:EscapeDelims(string(@ID))">
379 </td>
```

② アイテム編集フォーム

XSLT テンプレート内の<xsl:template name=dvt_1.rowview>タグ内に、未既読処理用の FormField コントロールを追加して下さい。また、必要に応じて見出し・テーブル行なども追加してください。以下に修正例を記載します。

➤ 変更前

```
CustomEditForm.aspx
<xsl:template name="dvt_1.rowedit">
  <xsl:param name="Pos" select="position()" />
  <tr>
    <td>
      <table border="0" cellpadding="0" width="100%">
        <tr>
          <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
            <H3 class="ms-standardheader">
              <noBr>タイトル<span class="ms-formvalidation"> *</span>
            </H3>
          </td>
          <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
            <SharePoint:FormField runat="server" id="ff1{$Pos}" ControlMode="Edit" FieldName="Title">
              <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ffdescription{$Pos}" FieldName="Title">
            </td>
          </tr>
          <tr id="idAttachmentsRow">
            <td nowrap="true" valign="top" class="ms-formlabel" width="20%">
              <SharePoint:FieldLabel ControlMode="Edit" FieldName="Attachments" runat="server"/>
            </td>
          </tr>
        </table>
      </td>
    </tr>
  </table>
</xsl:template>
```

➤ 変更後

```
CustomEditForm.aspx
<xsl:template name="dvt_1.rowedit">
  <xsl:param name="Pos" select="position()" />
  <tr>
    <td>
      <table border="0" cellpadding="0" width="100%">
        <tr>
          <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
            <H3 class="ms-standardheader">
              <noBr>タイトル<span class="ms-formvalidation"> *</span>
            </H3>
          </td>
          <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
            <SharePoint:FormField runat="server" id="ff1{$Pos}" ControlMode="Edit" FieldName="Title">
              <SharePoint:FieldDescription runat="server" id="ffdescription{$Pos}" FieldName="Title">
            </td>
          </tr>
          <tr>
            <td width="190px" valign="top" class="ms-formlabel">
              <H3 class="ms-standardheader">
                <noBr>未既読処理用</noBr>
              </H3>
            </td>
            <td width="400px" valign="top" class="ms-formbody">
              <SharePoint:FormField runat="server" ControlMode="Edit" FieldName="ReadUnreadField" />
            </td>
          </tr>
          <tr id="idAttachmentsRow">
            <td nowrap="true" valign="top" class="ms-formlabel" width="20%">
              <SharePoint:FieldLabel ControlMode="Edit" FieldName="Attachments" runat="server"/>
            </td>
          </tr>
        </table>
      </td>
    </tr>
  </table>
</xsl:template>
```

③ アイテム作成フォーム

未既読処理用の修正は特に必要ありません。

制限事項

以下のサイトは未既読機能サポート対象外です。

- 会議ワークスペース テンプレートを利用したサイト

以下のリストは未既読機能サポート対象外です。

- 外部リスト

匿名ユーザーは未既読情報が記録されません。

試用版について

試用版の場合、弊社 株式会社アソクのロゴが表示されます。

以上